

環境保全を図る活動に関するアンケート調査結果

(参考資料2)

<目的>
吹田市第3次環境基本計画策定にあたり、本計画に市民・事業者・市民団体との連携について計画に盛り込むために、本市において環境の保全を図る活動をされている団体の活動状況を把握するための調査を行いました。

<期間>
平成31年3月12日から平成31年3月25日まで

<調査内容>
質問1：貴団体、ご担当者様、ご住所等を可能な範囲で記入してください。
質問2：活動されるにあたって、どのような目的をもっていますか。（吹田市市民部市民自治推進室における「市民公益活動内等届」の記載内容と同様である場合は「同様」とお書きください。
質問3：その目的に向けてどのような活動を行っていますか。
質問4：活動を通じて感じる吹田市における環境の課題とは何だと思えますか。
質問5：活動を行う中で、市との協働事業の提案や要望（サポート等）、意見等がありますか。
質問6：過去5年間に実施された事業について、成果や課題も含めて、代表的なものをお答えください。
質問7：質問6でお答えいただいた事業について、数値（指標）による評価はできますか。（質問8に関するもののため表示せず）
質問8：質問7で「①できる」とお答えいただいた事業内容について、数値（指標）をお答えください。（細かいデータのため表示せず）
質問9：その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

<調査結果>
調査結果としては、団体の方々が求めているものとしては、財政的な支援や市の環境に対する意欲的姿勢などでした。回答いただいた多くの団体が積極的に環境に関する取組を行っており、本計画においては、そのような団体の方々との協働した取組の推進するために、分野横断的戦略「はぐくむ」を設定し、具体的に計画を進めていく中で、協働して行う取組について検討していきます。

NO	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6		回答9		
	団体名					事業名	事業概要			
1	特定非営利活動法人すいた環境学習協会	環境問題は人類に課せられた大きな課題である。みんなが現状を良く理解し、課題解決の為、あくことなく立ち向かう大きなエネルギーが必要である。こうした中で、地域の環境教育支援に主眼を置き、エコマインドの涵養や環境保全のため、一隅を照らす存在になりたいと願望するところである。	1. 環境学習を支援する活動 2. みどりの保全活動 3. 環境美化活動 4. 普及啓発活動 5. 広報活動	1. 環境教育への取り組みがやや弱い。環境問題は、一朝一夕に結果が得られるものが少なく、世代を超えた取り組みが必要である。 2. 環境問題への関心が薄い。行政が笛吹けど市民は踊らない。楽しく学べ、実行するイベントが必要ではないでしょうか。	1. 環境問題に取り組む団体への支援体制又は制度の整備をお願いしたい。 2. 環境教育支援について行政のご支援をお願いしたい。	小中高等学校向け学習支援 大池サタテスクール、夏休み子ども体験学習講座 市民環境講座、公民館等での講座	みどりの保全活動 千里第2緑地、千里第7緑地における竹林整備活動 緑視率調査 樹木調査と名札かけ事業 公園の樹木ガイド	環境美化活動 SELFクリーン作戦 環境美化推進員活動	普及啓発活動 自然とエコの探検隊「楽しく学んで環境博士になろう」 各地での竹工作教室、ふれあい交流広場など	1. SELFの活動報告書（2014、15、16、17年度）別途郵送します。尚、2006年度分以降はSELFのホームページでご覧いただけます。 2. アンケート調査の目的等、理解しづらく要領を得た回答になっているか少々心配ですが送信します。
2	吹田自然観察会	同様	同様	以前見られた生物が見られなくなり、見られる数も減ってきて生物多様性が徐々に減少しているように感じます。美しい花の咲く樹木を植樹したり、遊具を新設したり市民に喜ばれる活用も良いですが、自然環境を保全するには、先を見通した計画とその時々具体的な手立てがより必要ではないかと考えます。例えば公園等の植樹に際しては、在来樹木や虫の食草になったり鳥の餌になる実をつけたりする樹木の選定が望まれます。また市民へのPR、維持管理をする予算・人材も必要だと思います。		自然観察会（どんぐり祭りを含む） 紫金山子ども自然教室 モニタリングサイト1000里地調査（紫金山公園） すいた環境教育フェスタに参加	主に吹田市内で年8回ほど自然観察会を実施し、自然に親しむと共に自然を見守る。以下の事業と共に、会報誌（年6回発行）に行事内容等を掲載している。 吹田市内等のイオンチアーズクラブと協賛して年間6回ほど主に紫金山公園で実施している。午前に自然観察会に参加、午後に自然工作など。 2009年から環境省の提唱した里地調査（植物相 通年毎月1回、鳥類：越冬期と繁殖期、チョウ：4～11月毎月2回）を実施して結果を会報誌に掲載すると共に日本自然保護協会に毎年報告している。2014年には5年間の調査結果をまとめた冊子を発行した。 吹田に残したい自然（生き物等）をわかりやすいように写真を多用して掲示。吹田に拡散してきた特定外来生物のオキケンケイギクとナルトサワギクの説明・写真を毎年掲示して市民へ啓蒙を図る。			
3	特定非営利活動法人すいた市民環境会議	同様	同様	・自然環境が少なくなって、自然に目を向ける人が少なくなっている ・公園は都市公園として管理され、生物の多様性がなくなっている ・生物の多様性が子どもたちの成長に必要であることを行政は認識していないとしか思われないことが多い ・教育と環境の行政内の連携が薄すぎる ・環境問題は行政だけでできることではない市民の知恵・力が必要であるがその努力をしようという姿勢がみられない	多いにありますが、市民団体と協働しようという姿勢がみられず、市民団体をサポートしようとしていない	市民共同発電所 吹田市内の古木大木調査 森のクラフト 市内の生物多様性(植物)の基礎調査 みどりのカーテン普及 エコッキング	・福祉施設に市民がお金を出し合って太陽光発電システムを設置した。 ・広報に市(アジェンダ21すいた)に協力を求めたが断られた。お金の支援を求めたわけではなく、広報の支援をもとめたのだが。 ・市内の自然環境の継続調査が必要と思われるため、1997年から10年ごとに調査をしている ・公益活動の補助金を申請したが、1/2に削られた ・自然の中から得られる素材を使ってのクラフトで、子どもたちの想像力を育てる、大人には自然に目を向けてもらう目的。目的を達成している。 市内の水辺特に田んぼの周りに植物の多様性が見られるため、現状の把握と生物多様性戦略のための基礎資料とすべく調査している 継続して実施している地区ではマンションの窓に緑のカーテンを作っているのが目立つので目的達成 CO2削減のために家庭でできることをかかんがえようと保温調理・節水・ごみ減量など含めて実施。			年度末で、大木調査の報告書とりまとめなどで多忙です。市民は生活・仕事をしながらの活動です。多忙な時に時間のかかるアンケートを欲しいと言われてもこまりません。指標とするには参加者数をさかのぼって調べるのは時間がかかります。このアンケートも、記載できる人間に限られ、その人間も多忙過ぎてごんなにそそくなりました。 悪しからず適切な回答ではなかったものもあるかと思いますが、いずれ、ゆっくりときいていただければ、過去も調べて回答できるかと思えます。特に数値化は。

NO	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6		回答9	
	団体名					事業名	事業概要		
4	アジェンダ21すいた	同様	同様	1) 温暖化、プラスチック問題、食ロス、SDGsなど、これらは生活に身近な問題とはいいがたい。吹田市は市街の環境に大きく依存する市でもある。以上の問題の原因は市民にあり、市民がライフスタイルをどのように変えていくかが大事だ。 2) 効果的な啓発手段を実施することが大事だ。聞くだけでなく参画すること、少しでも関わられるような活動を展開することで意識が高まる。 3) 企業の取り組みが、種々行われているにも関わらず、見えてこない。それらが可視化するような仕掛けが必要だ。アジェンダのサイトなどを通じて可視化するべきだ。 4) 幼児、児童が体験できる、身近な自然環境を増やし、触れることのできる自然を豊富に作るなど、母子ともに自然になじめるように環境の整備をする。また幼児環境教育、小学校環境教育に力を入れるべきだ。そのためにも教育委員会との連携が大事だ。市長は環境教育を高く掲げるべきだ。 5) 定年の延長、家計の縮小、共働きなど、経済に市民が吸い上げられて、かつてのように無償で時間を使って活動できる市民が減少してきている。かたやネットを使って自学自習する高度な市民も増えてきており、活動時間は簡単にとれないが、知恵を出せる知識の深い市民が増えてきているようだ。そのような市民の力を引き出すような仕組みが大事だ。 6) 千里リサイクルプラザは、周辺市でもこれだけ力をもった組織は見られない特異な存在である。市とプラザの協議をよく重ねて相補的な関係を構築することが大事だ。特に市域の環境教育の拠点としての進展が望まれる。	アジェンダは市の下部組織、との声も聞こえるが、審議会を経て縦覧を経て決められた環境基本計画は明らかに市の将来を付託されたものであり、それを着実に現実化することが必要だ。そのための組織としての機能を果たしていきたい。 そのために、基本計画のもと、市と市民組織、企業からの意向をよくくみ取り、吹田の未来図に向かって道筋を描き、着実に段階を上げていく活動の継続が望まれる。現在もアジェンダの参画組織としての環境政策室に負うところが大きい。市域に広げていくためには市民の無償の活動力だけでは限界があり、今後とも、人的、財政的支援を願うものである。	みどりのカーテン講座 エコキャンドル作り講座 フラグシッププロジェクト 地球温暖化防止「すいたクールアース大作戦」 フラグシッププロジェクト「食品ロスの啓発キャンペーン」	みどりのカーテン講座 エコキャンドル作り講座 フラグシッププロジェクト 地球温暖化防止「すいたクールアース大作戦」 フラグシッププロジェクト「食品ロスの啓発キャンペーン」	事業概要 ヒートアイランド現象の緩和に資するものとして、同講座を実施する。ヒートアイランド現象やみどりのカーテンの効果、家庭菜園の楽しさについて講義を行い、ゴーヤを使ったみどりのカーテン作りの実演を行う。 家庭から出た廃油の再利用や拠点回収場所への持参をよびかけ、キャンドルイベント等への参加のきっかけとなることを目的とする。 地球温暖化防止対策として平成29年度より、「すいたクールアース大作戦」を展開。その一環として、CO2排出ほぼゼロの「十五夜ムーンライトコンサート」を開催。また、平成30年度よりその取組を広げ、「クールアースウィーク」と題し、ウィーク期間中に、コンサートだけでなく、温暖化防止のための様々な取組を、地元企業、店舗、大学等において実践していただいた。来年度以降も引き続きこの取組を実践していく。課題：更なる取組み充実のため、スタッフを増やす必要がある。 食品ロス削減に向け、市内の飲食店等にポスター等の啓発グッズを置いていただき、市民等への啓発を行う。今後、協力店舗や対象地区を拡充していきたい。課題：更なる取組み充実のため、スタッフを増やす必要がある。	京都市や枚方市のように、市が「環境教育」を中心に掲げ、未来を担う子供たちが環境のことを考えていけるよう、人を育てることに力を尽くすことが「100年の計」であろう。何よりもこれに全力を傾注することだと考える。
5	千里竹の会	千里ニュータウンに残る貴重な市民財産でもある“竹林”を保存し、緑の環境を維持することを目標に平成15年11月16日千里竹の会を設立した。その目標達成のために竹林整備・竹のイベント・竹の細工など行い地域社会の発展に尽すことを目的としている。	吹田市では、桃山公園の竹林・南千里中学横の千里の緑地の竹林の整備。桃山公園は毎週月曜日の午後1時30分から3時30分に。緑地は第二・第四土曜日の午後1時30分から3時30分。他に吹田市のボランティアフェスティバルの参加・本庁の門松づくり。竹炭・竹酢液づくり・竹細工教室など。	吹田に深い関心と愛着を持つ人は、公園の樹林・竹林・花壇の美化に積極的に活動されている。一人でも多くの住民が参加されるよう、現会員が誘い水となり、吹田の緑化が一層進むことを願っている。吹田市においても緑化運動を進めて欲しい。	竹林整備のためのノコギリ・カケヤ・枝払い棒、縄など“用具入れ”の設置を市公園みどり室に再三お願いしているが、予算がないのか、桃山公園・第七緑地の二ヶ所とも無視されている状態。職員が現場に来て、現状を確かめて欲しい。	市民に“たけのこ堀り” ボランティアフェスティバルに参加 本庁玄関に門松を飾る。 緑の市民協働部門 国土交通大臣賞	毎年4月の第2日曜日、吹田市主催の“たけのこ堀り”に協力。但し本年は取り止め。 平成16年以降、毎年5月の最終日曜日に開催されるボランティアフェスティバルに参加し、東日本大震災の災害募金に協力。但し本年度は取止め。 平成16年以降、毎年本庁玄関に門松づくりを実施。会員は飾ることを楽しみにして活動をしている。 平成27年11月9日緑の市民協働部門で第35回国土交通大臣賞を受賞。	昨年は竹林が豪雨や台風のため、倒れた竹や折れた竹が多くなり、また土も流されたので、土が痩せて、竹の育ちが悪くなっている。吹田市において、腐葉土など肥えた土を竹林に入れて欲しい。	
6	関西大学経済学部・良永ゼミ	学生諸君に環境の現状を教え、また輪読や調査を通して最新の知識を得て、議論する中で、環境に配慮できる社会人を育てる。	様々な書籍・論文等を輪読し、注目すべき企業や自治体を訪問・調査する。それを活字にしたり、口頭報告したりしている。	高齢化・福祉と環境への対応の関係。(進展する高齢化の中で、環境問題への対応をどうしてゆくの。検討を始めておく必要があるのではないか。)	希望としては、ゴミ処理場等の見学、吹田や能勢の農業や林業見学。	ゴミ冊子の作成 各種プレゼン大会等への出場・参加	数年に一度、近隣の市町村のゴミに関する状況を冊子にまとめている。 全国インターゼミ大会、関西ブロック大会、学内経商ゼミ大会等への出場。	特にはありません。	
7	大阪大学環境サークルGECS	「学生」の立場から環境について考える	大学キャンパス付近、キャンパス内におけるごみ拾い、古紙回収をはじめとした環境活動。	特にないと思います。	今までのような親しい協力をさせていただいたり、させていただけると嬉しいです。	一回生イベント(箕面川清掃活動) 一国の主ゲーム～君は何を守るのか～ 全国大学生環境活動コンテストでの活動発表	大学の一回生の活動への参加、地域住民との協力していただいて、箕面川を楽しく清掃しています。今回で、毎年の企画になっています。 SDGsの認知度、理解度が低いことを改善するための環境教育ゲームの開発を実施。改善を重ね、理解度(参加者)が上がった。 一年間の自団体の活動を発表し、全国の大学生環境団体と交流する。グランプリをいただき、環境大臣賞を受賞しました。		
8	水と環境を考える会	同様	同様		以前は市のサポートがあり、色々な行事、場所などありましたが、現在活動の場が少なく、市報に出しても、人が集まらずむずかしいです。	廃油せっけん作り	人・場所を集めるのもむずかしいです。		
9	特定非営利活動法人吹田・江坂ビジョン21	吹田市江坂地域における環境美化、交通安全の改善・向上。	地域の清掃活動、不法看板の撤去、不法駐輪、不法駐車取締りキャンペーン。緑化の推進。	活動の継続と目的の完遂、達成する迄やる事が重要。	しっかりサポートする事。	街道の清掃 不法駐輪撤去 歩きタバコ	毎月、月初めの清掃により街からゴミが消えました。手をゆるめると元に戻ります。	法的な規制は多大な効果あり。	